



糸島市図書館を 利用しよう



これまで、みなさんに愛されてきた図書館。市民の知識と文化の泉として、これからもみなさんに愛される図書館をめざします。

図書館では、ぱびるす号による本の巡回サービスや図書ボランティアの支援などのほか、イベントやボランティアなどの情報について「広報いとしま」の「ぱびるすだより」の中で、お知らせをしています。

今回は、糸島市誕生に伴う、図書館の利用方法の変更などについて、イベント情報などを交えてお知らせします。

図書館利用のご案内

糸島市誕生により、旧志摩町や二丈町の市民のみなさんに、利用内容の変更をお知らせします。

【貸出冊数】5冊

【予約】図書館が所蔵していない本についても、リクエスト



図書館にはいろんな夢や希望、知恵、知識がいっぱい詰まっている（どきどき図書館員体験から）

トができます

【ネット予約】図書館で登録手続きをすると、インターネットでの予約ができます

リクエスト冊数の変更

図書館でのリクエスト冊数は、これまで1日に5冊（広域の人は3冊）まででしたが、1月からは1人のリクエスト総数が10冊までとなりました。

利用者のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

特別整理による休館

図書館では、館内特別整理（蔵書点検）のため、次の期間は休館します。なお、インターネットによる予約や学習室なども利用できませんので、ご了承ください。

休館期間 1月25日（月）から2月6日（土）まで

※休館中の本の返却は、図書館玄関横のブックポストをご利用ください。

春に向けての勉強会 本の修理講習会の開催

「子どもの読書ネットワーク前原」では、恒例の勉強会を開催します。

今回は通常の勉強会のほか、本の修理の仕方を学ぶ講習会も併せて行います。

日時 1月20日（水）

勉強会

10時から11時まで

修理講習会

11時から12時まで

場所

伊都文化会館 和室

内容

語りの会「伝々虫」によるストーリーテリング。春にふさわしい読み聞かせ絵本の紹介、絵本などの簡単な修理方法

対象者

子どもの読書や本の修理に関心のある人などなたでも参加できます。

参加費

無料

※事前の申し込みなどは、必要ありません。

ボランティア講座 参加者募集

春に向けて、新しいことを始めようと考えている人、ボランティアに関心のある人など、いつかボランティアをやりたいと思っている人を対象にした講座です。

ボランティア全般の基礎知識や心構えを学び、体験談などを聴きます。

この講座は「地域ささえあい研修会 in 糸島」のNPO・ボランティアフェアの中で行います。いろいろなボランティアについての情報収集にも役立ちます。お気軽にこ

参加ください。

※図書館の読書読みかせなど）ボランティア講習会については、来年度、広報などでご案内する予定です。

日時 2月20日（土）10時から11時まで

対象者

ボランティアに関心のある人、またボランティアを始めようと思っている人

場所

伊都文化会館研修室

定員

30人程度

参加費

無料

※事前の申し込みは、必要ありません。どなたでも参加できます。

これからの 定例おはなし会

日時 2月13日（土）・27日（土）14時から14時30分まで
場所 おはなしのへや
内容 絵本の読み聞かせなど
対象 小学校3年生
くらいまで

問い合わせ

糸島市図書館

☎（327）1432

<http://www.lib-itoshima.jp/>

いとしま 歴史遺産

伊都国から始まる邪馬台国ミステリー

伊都国歴史博物館

糸島市井原916番地
☎（322）7083

出発点なのです。

国宝を常設展示



開館時間 9時～17時（入館16時30分まで）
休館日 毎週月曜日、年末年始
※月曜日が祝日の場合は次の日が休館。
入館料 一般210円、高校生100円、小中学生・65歳以上無料

邪馬台国の謎と伊都国

糸島地方の古代史の中で、最もクローズアップされるのが弥生時代。特に怡土地区は、中国の史書『魏志倭人伝』に記された伊都国の中心にあたります。

（末盧国より）東南陸行五百里にして伊都国に到る。（中略）千余戸あり。世々王あるも皆、女王に従属す。郡使往来するに常に駐まる所なり……。

邪馬台国の唯一の手掛かりは『魏志倭人伝』です。この謎を解き明かすキーワードが伊都国。まさに邪馬台国ミステリーは、伊都国が



平原遺跡から出土した日本最大の銅鏡（国宝）

これらを常設展示した博物館には、王墓の原寸大模型や映像メディアが充実し、見て触れて楽しめます。また、4階には、糸島の風景が一望できる展望スペースのほか、博物館講座を行う研修室もあります。

いとしま 歴史遺産

すべては玄界灘の海から始まった

志摩歴史資料館

糸島市志摩初1番地
☎（327）4422



開館時間 10時～17時（入館16時30分まで）
休館日 毎週月曜日、年末年始
※月曜日が祝日の場合は次の日が休館。
入館料 一般210円、高校生100円、小中学生・65歳以上無料

海に関係の深い遺跡が数多く発見されています。常設の展示室では、海を大きな柱に、住居生活・交易・信仰・漁業・干拓・生産・墓制の8つのテーマに分け、遺跡から出土した考古資料を中心に展示しています。実物の遺物以外に、模型などを使って分かりやすく解説しています。

海を柱とした展示

志摩歴史資料館は、志摩地域から出土した歴史資料を展示公開・研究・収蔵するため、平成8年に開館しました。志摩地域は、玄界灘に突き出た糸島半島にあるため、大陸との交易をはじめ、海を媒体とした交流が活発に行われていました。一帯からは、



新町・御床松原遺跡から出土した貨泉と半両銭

可也地区の一の町遺跡や引津地区の新町・御床松原遺跡など、弥生時代中・後期の拠点集落からは、楽浪系土器・三韓系土器や貨泉・半両銭といった古代中国の貨幣など、大陸から直接持ち込まれた遺物が多数出土。特に貨泉の発見は、御床松原遺跡の名前を全国に知らしめました。

大陸からの遺物が多数